

*****2008.6.30*****

CGL NEWS Ⅲ Vol.5

Conference on Green Logistics in Japan

<http://www.logistics.or.jp/green/>

『CGL NEWS Ⅲ』は、第3期環境会議メンバーの方々を対象として、環境会議の活動状況と行政動向に関する情報提供を発信しております。

<目次>

1. 弾力的な鉄道貨物輸送システムのあり方に関する調査報告書について（国土交通省）
2. 東京都環境確保条例の改正（東京都）
3. 平成20年版環境・循環型白書を公表（環境省）
4. <7月11日開講>
第4期グリーンロジスティクスエキスパート講座（東京開催）
5. 第4回グリーン物流基礎コースのご案内（大阪開催）

★

弾力的な鉄道貨物輸送システムのあり方に関する調査報告書について（国土交通省）

★

国土交通省は、6月27日（金）に「弾力的な鉄道貨物輸送システムのあり方に関する調査報告書」を公表いたしました。

省エネ法等を受けて、荷主企業を中心に、鉄道へのモーダルシフトへの関心が高まっておりますが、「利用したいのに輸送枠が確保できない」、「輸送を依頼しても断られる」といった意見が聞かれます。一方で、実際の鉄道貨物輸送の積載率は平均7割程度にとどまっている状況があります。

これらを踏まえ、国土交通省では、実証実験を実施し、予約状況の推移と輸送実績のデータ等から輸送力のギャップ発生の原因等を抽出・分析することを通じて輸送枠の取りやすさや積載率向上等を可能とする方策について検討しております。

詳細は、下記国土交通省ホームページをご参照下さい。

http://www.mlit.go.jp/report/press/tetsudo02_hh_000002.html

★

東京都環境確保条例の改正について（東京都）

★

東京都では、6月25日（水）に環境確保条例の改正案が可決・成立しました。

<主な改正内容>

・大規模事業所への温室効果ガス排出総量削減義務と排出量取引制度の導入
・中小規模事業所の地球温暖化対策推進制度の創設
（CO2排出量等の報告制度（任意）、多数の事業所を有する企業等は提出を義務化）

- * 新しい制度の施行は、2010（平成22）年度からとなります。
- * 制度の詳細な規定など、「規則」の制定は、2008（平成20）年度末頃を予定しています。

詳細は下記東京都ホームページをご参照ください。

<http://www.kankyo.metro.tokyo.jp/joureikaisei2008/index.htm>

★

平成20年版環境・循環型白書を公表(環境省)

★

環境省は、6月3日(火)に「平成20年版環境・循環型白書」を公表しました。

本白書では、「低炭素社会の構築に向け転換期を迎えた世界と我が国の取組」、「循環型社会の構築に向け転換期を迎えた世界と我が国の取組」を総説のテーマとして取り上げております。

「低炭素社会の構築に向け転換期を迎えた世界と我が国の取組」では、昨年12月の気候変動枠組条約第13回締約国会議において採択されたバリ行動計画の下、低炭素社会の構築に向けて歩む世界の潮流について紹介するとともに、我が国の取組や国際貢献について述べ、本年7月に開催される北海道洞爺湖サミットに向けて、国民の理解・関心を呼び掛けるものとなっています。

また、「循環型社会の構築に向け転換期を迎えた世界と我が国の取組」では、本年3月に閣議決定された第2次循環型社会形成推進基本計画の内容に沿って、「地域循環圏」や低炭素・自然共生社会づくりとの連携について記載しており、これらについて示唆に富む江戸期の社会から振り返り、「もったない」の考え方に即した暮らしぶりなどを紹介しています。また、我が国の廃棄物問題等の経験を踏まえ、衛生的なし尿の活用や浄化槽等の我が国が生み出してきた技術・システムを発信し、アジア循環圏の構築に向けて国際協力にいかしていくことなどを紹介しております。

詳細は下記環境省ホームページをご参照下さい。

<http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=9792>

★

ー7月11日(金)開講！！ー

■第4期グリーンロジスティクスエキスパート講座(東京)■

★

JILSでは、物流・ロジスティクス分野における環境負荷の現状を定量的に把握し、その低減のための循環型システムを計画立案、推進、評価できる人材の育成を目的とする、「第4期グリーンロジスティクスエキスパート講座」を7月11日(金)より開講いたします。

本講座を修了し、所定の試験に合格された方には「グリーンロジスティクス管理士」の資格が授与されます。これまでに88名(69社)の方が取得され、省エネ法で求められている省エネ責任者(省エネのための取組を理解し、各関係者に必要な取組を指示できる、国に対して提出する「定期報告書」「計画書」の策定責任者)等、各企業で活躍されております。

現在、本講座を自社の人材育成プログラムに組み込み、ご活用いただいている企業の方も増えております。環境負荷とコスト削減の両立を推進し得る人材の育成のために、本講座をぜひご活用ください。

(本講座の特長)

- ・ロジスティクス領域における環境対応を担う実務リーダーに不可欠な専門知識を習得できるカリキュラムとなっております。
- ・実践を念頭においた受講者参加型のプログラムを下記のとおり豊富に取り入れ、実践経験豊富な講師より指導を得られます。
 - 自社業務に関連する法令のレポート、及び発表
 - 異業種メンバーとのグループ討議による環境負荷低減施策の立案、発表(計3回)
 - 自社における環境負荷低減施策の実施計画案作成

【会期】2008年7月11日(金)～12月12日(金) 12日間

【会場】東京都内会場

【定員】50名

【対象】製造業・流通業・物流業のロジスティクス・物流・環境部門のリー

ダー層

【受講料】JILS会 員:294,000円(税込)

JILS会員外:367,500円(税込)

※物流技術管理士、国際物流管理士の資格取得者には優待割引があります。

また、グリーン物流基礎コース修了者にも優待割引が適用されます。

【問合せ先】本部 人材教育部 TEL:03-5484-4021

詳細プログラム、これまでの資格取得企業一覧等は、下記URLをご参照ください。
(PDF1. 14MB)

www.logistics.or.jp/education/seminar/pdf/2008/08h_BA0814_dai4green.pdf

★

■第4回グリーン物流基礎コース(大阪開催)■

会期:7月24日・8月7日・8月22日(3日間)

★

JILS関西支部では、物流・ロジスティクス分野における環境負荷低減施策の基礎知識を体系的に学び、基本的な環境負荷低減の計画立案、実践ができる人材の育成を目的とした「第4回グリーン物流基礎コース」を7月24日(木)に開講いたします。

本コースは、物流・ロジスティクス分野における環境問題全般と、「輸配送」、「包装」、「静脈物流と廃棄物削減」に関する環境負荷低減施策の基本的な項目について、理論、実務両面から学ぶことができます。

本コースは、係長、業務担当者クラスの方々に加え、物流に関して一通りの知識を有した方が、「環境の視点から物流を再確認・再整理」し、「コスト削減と環境負荷低減が両立した取り組み」や「環境をテーマとした新たな物流サービスのヒント」を得るためにご活用いただくケースが増えております。

関係各位の積極的なご参加をお待ちしております。

【会 期】2008年7月24日(木)、8月7日(木)、8月22日(金)

【会 場】大阪リバーサイドホテル(大阪市都島区)

【定 員】30名

【対 象】物流・ロジスティクス分野における環境負荷低減施策に取り組む方で、基本的な知識を必要とされる係長・主任・スタッフの方々や、新任担当者の方々

【参加料】84,000円/JILS会員、99,750円/JILS会員外

※ロジスティクス経営士、物流技術管理士、国際物流管理士、グリーンロジスティクス管理士の資格取得者には優待割引があります。

詳細はパンフレットの申込規定をご覧ください。

【問合せ先】関西支部 TEL. 06-4797-2070

※プログラムの詳細は下記URLをご参照ください。(PDF2. 0MB)

http://www.logistics.or.jp/education/seminar/pdf/2008/08K_GLB.pdf

*****CGLNEWS III 配信について*****

■本メールは第3期ロジスティクス環境会議

代表登録者・連絡窓口・研究会・委員会にご登録いただいている方に配信しております。(メールの登録のある方のみ)

■発信元:社団法人日本ロジスティクスシステム協会

■お問い合わせ、配信停止・変更は:cgl@logistics.or.jp

(C)CGL NEWS All Rights Reserved.
